

< 目指せ！1等米比率90%以上継続！～JA富山市米品質向上生産運動展開中～ >

コシヒカリの調査ほの出穂期は7月29日頃で、成熟期は平年より8日程度早いと見込まれます。

今年は出穂以降、高温で推移しています。
籾の黄化状況を確認し、適期の収穫で立毛中の胴割れを防ぎましょう。

また、適切な乾燥・調製により、胴割米等による品質低下を防ぎましょう。

表 コシヒカリの生育期(JA富山市管内7ほ場平均)

年度	田植時期	幼穂形成期	出穂期
R5	5/12	7/9	7/29
R4	5/15	7/7	7/29
平年	5/13	7/10	7/31

※成熟期()は予想
※平年値は H25～R4 の平均値

1 刈取りまでの管理

～適切な水管理で、最後まで稲体活力を維持～

- (1) 収穫の5～7日前まで「間断かん水」を行い、胴割米の発生を防止しましょう。
- (2) フェーン等の高温が予想される時は、事前に入水しましょう。
- (3) クサネムの種子は、ふるいで除去できないので、確実に抜き取りましょう。



2 適期刈取

～籾黄化率をしっかりと確認！～

- (1) 籾の黄化状況を必ず確認し、籾黄化率80% (今年は高温年のため) から刈り始め、適期内に収穫を終えましょう。
- (2) 枯れ上がりの早いほ場から刈取りを始め、刈遅れによる胴割米の発生を防ぎましょう。

表 出穂期からみたコシヒカリ刈取り始め時期の目安

出穂期	高温年 (籾黄化率80%)
7/26	8/28頃
7/28	8/30頃
7/30	9/2頃

※ 高温年の場合、刈取適期の期間が短くなるので注意しましょう。
※ 各地域に設置された「刈取適期表示」を目安にして下さい。

3 乾燥調製

～玄米水分は **14.5～15.0%** に仕上げましょう～

【乾燥作業の留意点】

- (1) ヤケ米の発生防止のため、刈取った籾は4時間以内に乾燥機に張込み、まず、常温で通風乾燥を行いましょう。
- (2) 外気温が高い場合は、送風温度を基準より5℃程度低くし、過乾燥による胴割米の発生を防ぎましょう。
- (3) 青米の混入程度を確認し、下表の目安を参考に乾燥機の停止水分を設定しましょう。
- (4) 玄米水分が17%を下回ったら、手動水分計でこまめに測定しましょう。

刈り遅れ、過乾燥は胴割米になるよ

表 乾燥機の停止水分判定の目安 - 玄米仕上げ水分 14.5%～15.0% -

100粒中の青米数	乾燥機の設定停止水分	乾燥機停止後の水分変化
0～5粒	15.0～15.5%	乾く
6～10粒	14.5～15.0%	ほとんど変わらない
11粒以上	14.0～14.5%	もどる

嫌われる

胴割米を



絶対出さない!

【調製作業の留意点】

- (1) 籾摺りは、乾燥後2～3日置いて、常温まで冷まし玄米水分を均一にしてから行い、肌ずれ米の発生を防ぎましょう。
- (2) 選別は 1.9mmの篩目を使用するとともに、機種ごとの適正流量を守り、整粒歩合を高めましょう。

秋の農作業安全運動実施中 (8月20日～10月20日)

○収穫、乾燥・調製作業中も事故防止や熱中症対策を徹底しましょう。

富山市農協ホームページで
営農情報の提供を行っています
<http://www.ja-toyamashi.or.jp/jouhou/>
こちらで検索!